

21世紀の医学教育についての提言

「医師のキャリアパスを考える医学生の会」

東京大学医学部3年 森田知宏
5年尾崎章彦、勝屋友幾、比嘉しりか
3年嶋田裕記、竹内麻里子

いいお医者さんとは…

うまい

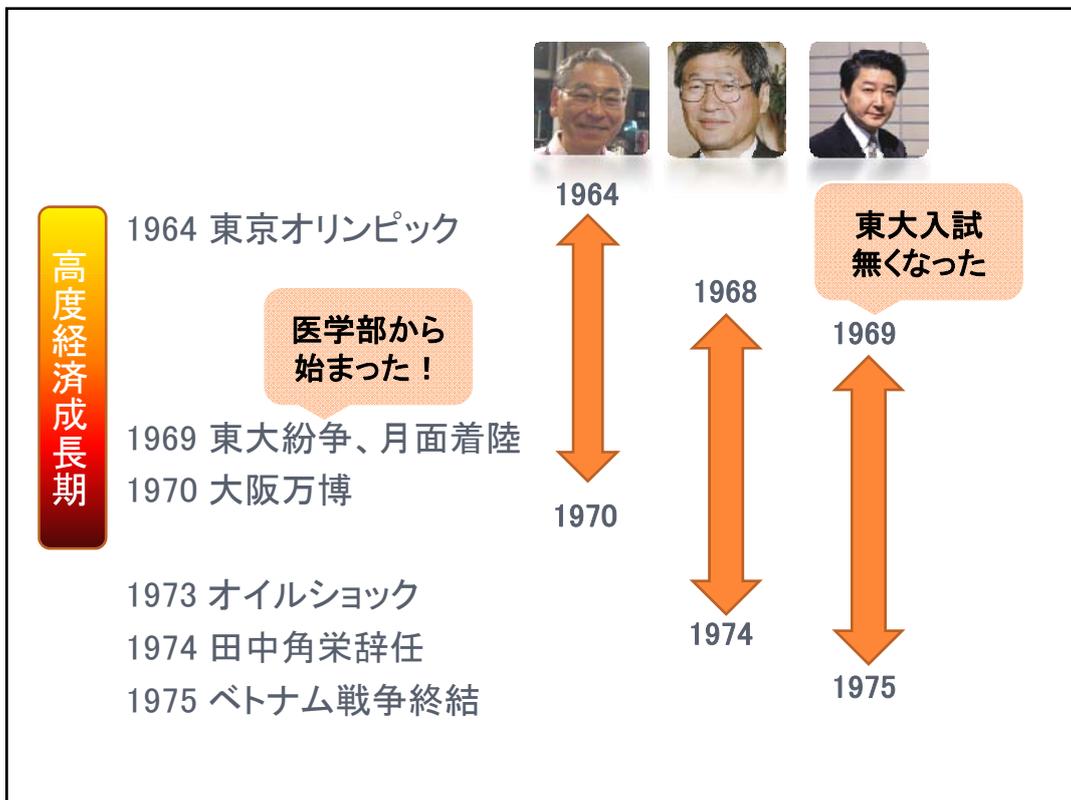
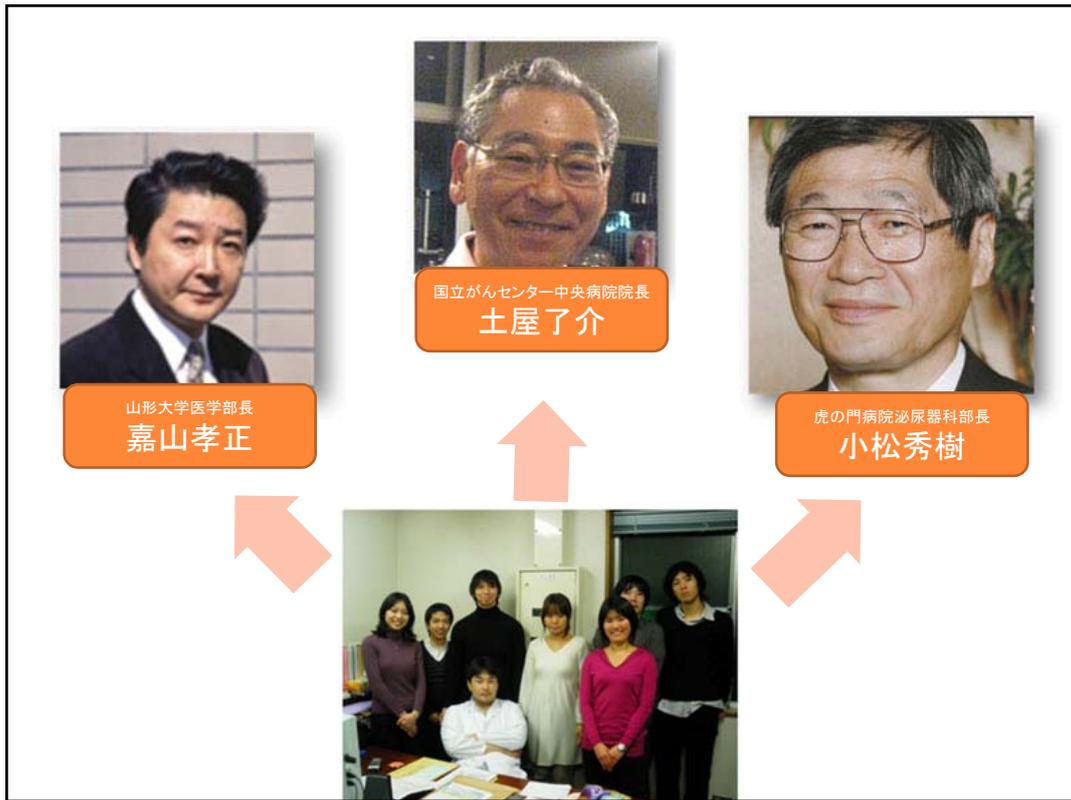
- ・腕がいい
- ・思いやりがある

えらい

- ・自らの意見を発信する
- ・大きな影響力がある

つよい

- ・リスクをとる
- ・逆境に耐える



ケースの考察

研究室・部活・勉強会・読書など、
講義とは離れた場所での活動が、
先生方の原点になっている。

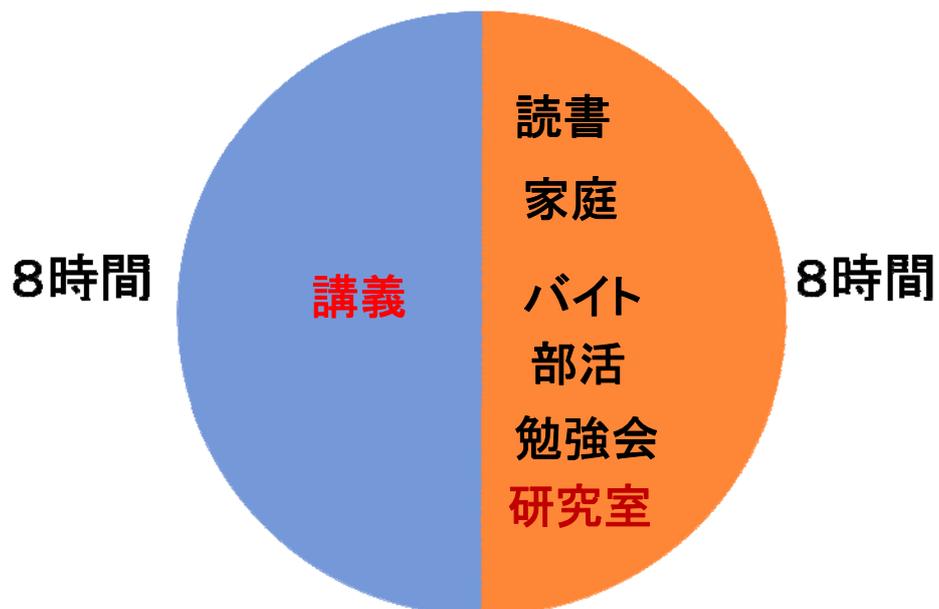
やりたいと思ってやったことは、**三者三様**。
(クラス討論、弓道、医学誌での勉強、山登り、読書)



私たちは
大学で何をしたいか

大学＝刺激を受ける人、場

1日に使える時間＝16時間



主張

講義とは？

- 医学知識→教科書に書いてある
web検索できる！
- 先生との個人的な人間関係や実地体験
→これが大事

でも…実体験なら、**現場**に行った方がいい！

講義より有用なものがある！



↑放射線医学見学ツアー

→「医学生の会」勉強会



↓昨日の様子

Int J Hematol (2008) 87:484-489
DOI 10.1007/s12185-008-0087-2

ORIGINAL ARTICLE

Current status of developm

Tomohiro Morita · Akiko Hori · Hiroto Nai
Tetsuya Tanimoto · Masahiro Kami

←研究室で書いた論文



現在のカリキュラムは

月	火	水	木	金	土	日
発生学	微生物学	微生物学	免疫学	解剖学実習		部活
解剖学実習	解剖学実習	解剖学実習	解剖学実習	解剖学実習		部活
部活	部活	塾講師	部活	家庭教師		部活

 は必修授業。

新カリキュラム内容

- **必修はテストのみ**。学力は、テストにより絶対評価。
- **テストの目的は「知識の確認」**。全6種類。
基礎医学 (生化学、薬理学、解剖学など)
臨床医学 (内科、外科) (これらはすべてプール問題から)
CBT、OSCE(実技)、卒試 (プール問題)、国試。
- **講義・実習はすべて自由参加**。ひとつもとらなくても可。
- 講義とは、従来型講義、少人数グループ学習(チュートリアル)、臨床実習、基礎実験。
- **ただし、臨床実習に参加するには、臨床医学のテストとCBT、OSCEをとともに通ることが必須条件**。

医学生のキャリアパス

これまで

	卒試、国試
5, 6年	臨床実習
	CBT, OSCE
	(テスト済)
1, 2年	基礎医学 (テスト済)

入学して、すぐに臨床を学べるので、モチベーションupにつながる。

3年生から病棟で実習できる。

こんなのもOK!

	卒試、国試
6年	臨床実習
4, 5年	基礎医学 (テスト済)
3年	臨床実習
	CBT, OSCE
1, 2年	臨床医学 (テスト済)

Case 1

予習→ディスカッション。自己学習し、仲間で理解をシェアする。

月	火	水	木	金		
テスト	グループ学習	グループ学習	グループ学習	グループ学習		
部活	臨床講義	自習	友人との議論	部活	読書	テスト勉強
	家庭教師	塾講師	デート		筋トレ	テスト勉強

型の認識と診断力が身に付いた。

講義はポイントをつかむ。

あとは、自分で自分をナビゲート。



Case 2

好きな分野は徹底的に。
医学書を読みあさる。

月	火	水	木	金	土	日
テスト	自習	自習	自習	自習	医療現場	
医療現場	グループ学習	自習	グループ学習	勉強会	医療現場	テスト勉強
	医療現場	医療現場	塾講師	医療現場	テスト勉強	テスト勉強



コラボクリニック

教えあって理解度↑
仲間と夜まで語り合う。

こんな活動も、大学教育の一環と考えてください。

Case 3

想定の方が広がった。

月	火	水	木	金	土	日
テスト	グループ学習	グループ学習	自習	読書	部活	部活
部活	自習	部活	読書	読書	部活	部活
部活		部活	塾講師	部活		

危険の予測、
体力、観察力が身に付いた。

目標につながる教育へ

- 色々な活動・人からの刺激



うまい

えらい

つよい

色々な活動を通じて…

- 医療現場の先生方の意見がよくわかるようになった。
 - チームで仕事をやり遂げる経験を積む。
 - チーム内での気配りが上手になった。
 - 勉強するモチベーションが高まる。
 - 時間の使い方がうまくなる。
 - 徹夜に慣れる。
 - 人見知りがなくなった。
 - 論理力が向上する。
 - やりたいと思ったらすぐ行動するようになった。
- などなど

提言

勉強会・部活・研究室・読書・
医療現場…
こういった活動を教育として
認めてください！！



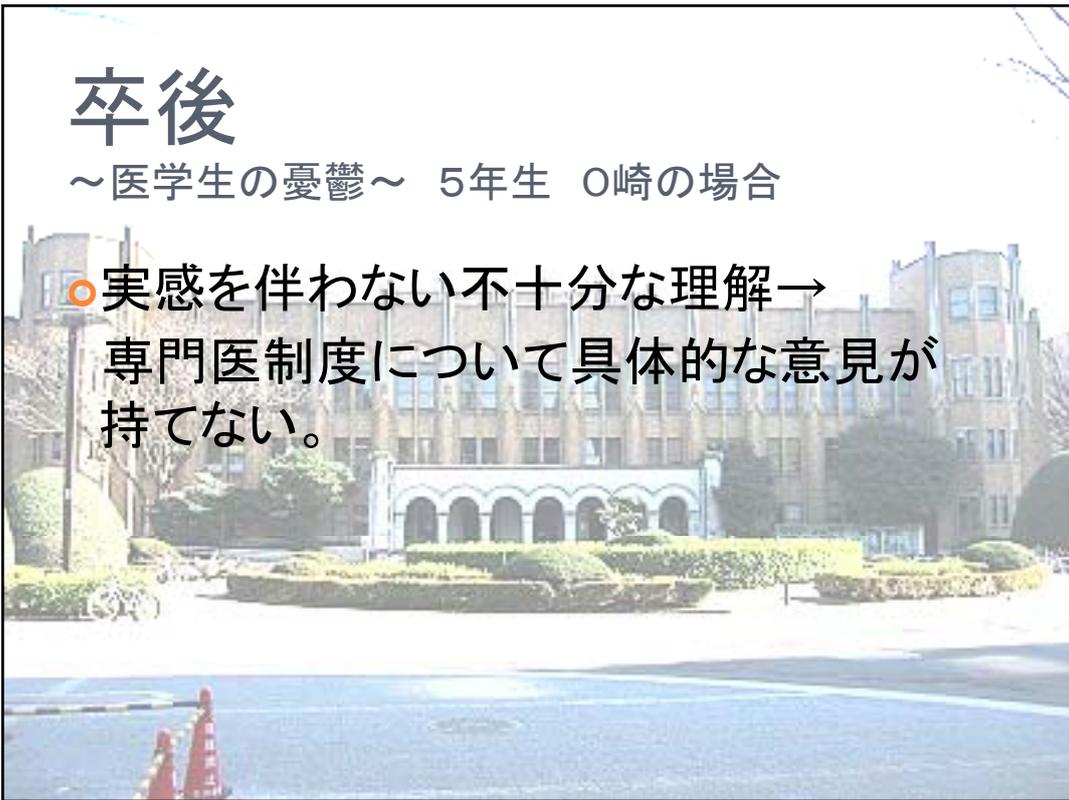
卒後

いろいろあったけど、卒業します。

卒後

～医学生の憂鬱～ 5年生 〇崎の場合

- 実感を伴わない不十分な理解→
専門医制度について具体的な意見が
持てない。



卒後

～若手医師の憂鬱～ 3年目医師Tの場合

- 「“研修”なんてない。ただ働くだけ。」
- 「一人前の医師に近づいたと自分で思った時、
あるジレンマを抱える。」

アカデミック
な道

臨床を
極める



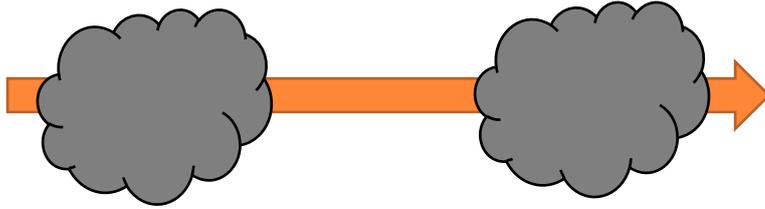
目標につながる教育へ

- 色々な活動・人からの刺激

入学前

学部

卒後



うまい

えらい

つよい

人生を一つの流れとした上で、
卒後教育を考えていきませんか？